

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

全体の補助予算
5,000万円（新規）資料6-1
1件あたり補助額
250～1,000万円/年

◎ 事業内容：専門分化を超え「断らずに診る」総合診療能力を有する医師の養成 & 大学と地域の中小病院による相互循環モデルの構築

大学病院（拠点機能）

総合診療体制の強化・教育基盤

- ・外来+入院の継続責任診療
主治医/共同担当として患者を総合的に診療
- ・高度専門部門との緊密連携
専門科と協力し、1次～3次救急に柔軟対応
- ・横断的な総合医教育の強化
多様で複雑な症例に対応できる能力を涵養

相互循環・連携ネットワーク

- 医師の循環派遣
総合診療医が大学 ⇄ 地域を相互循環
- 患者受入 & 逆紹介
急性期～回復期・地域生活を支える循環
- 指導医派遣 & 遠隔支援
大学から地域への指導医派遣・ICTバックアップ

地域の中小病院

長期地域医療実習のフィールド

- ・長期・連続の診療参加型実習
医学生を同一診療科へ長期間配属
- ・多様な地域症例の経験
Common Disease、高齢者救急、在宅医療
- ・地域医療への参画・定着
早期からの関係構築で地域定着を促進

取組に応じた支援メニュー（選択制・3年間）

A. 大学拠点機能強化

A-1：立ち上げ支援 2,500千円

A-2：強化・拡充支援 7,500千円

A-3：伴走・教育育成 10,000千円

B. 長期地域実習促進

B-1：立ち上げ支援 2,500千円

B-2：強化・拡充支援 7,500千円

B-3：遠隔地実習支援 2,500千円

推進ステップ（確認事項）

- 地域医療構想調整会議への協議および了承
あらかじめ、本事業への参加について協議を行う
- 連携先地域中小病院との実習・循環協議
長期継続実習（Common Disease/在宅）の受入協定
- 令和8年度概算要求に向けた申請書策定
拠点形成事業（メニューA・B組合せ）の申請取りまとめ

本事業は、地域で患者を総合的に診ることができる医師の育成体制・教育プログラムを構築することを目的としており、大学病院による患者の囲い込みを行うものではなく、高度医療と地域医療機関の明確な役割分担と強固な連携を前提として進めてまいります。具体的には、地域の医療機関における長期的かつ実践的な臨床実習を拡充することで、大学と地域医療現場を循環しながら将来的に本地域へ定着・貢献する医師の育成を目指すための体制を構築するために補助金申請いたします。